

### 13 有効な「手だて」まとめ

研究授業後の各学部ステップアップシートまとめ（7月・12月）より、有効な手だてを抜粋しました。さらに、それぞれの力を育むために有効な手だてについてまとめました。



	小学部	中学部	高等部
考える力	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の実態に合わせた教材を準備し、<u>繰り返し</u>行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>音声言語と写真カードのマッチングを繰り返し行い、文字で確認をする。</li> <li>視線や指先の動きなどきめ細かに動きをとらえ、動きに対して共感したり、称賛したりする。</li> <li>絵カードと発語や指さしによる指示をする。</li> <li>毎日の生活の中で<u>繰り返し</u>質問する機会を多く設定する。</li> <li>確認のポイントを明確にする。</li> <li>具体的に確認できる記録表を用意する。</li> <li><u>始めは確認の方法をひとつひとつ説明する。手立てを少なくしていく。</u></li> <li>目標を表すキーワードを明確にする。</li> <li><u>繰り返し</u>取り組むようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワイヤーを外すところを見せる。</li> <li><u>具体的な言葉掛けや活動の見本</u>を提示する。</li> </ul>



#### まとめ

- 初めは丁寧に見本を示したり言葉がけを工夫したりし、繰り返し取り組みながら、徐々に支援を少なくしていくことで、自分で考えることを促す。

やってみる力	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の<u>興味</u>に合わせた教材を準備し、注目するところをわかりやすくする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒が取り組む前に、<u>手本</u>を示しながらポイントを言葉で伝える。</li> <li>視線の中に具体物を提示する。時間をかけてやりとりする。</li> <li>言葉かけ、指差し。教師が演示し、どのように取り組むかを示す。</li> <li>はじめは教師が声をかけて習慣化を図る。</li> <li>評価の基準を具体的、丁度良くする。</li> <li>時間を尋ねる機会を多く設け習慣化する。</li> <li>目標の<u>学習場面</u>を具体的に決める。</li> <li>目標を書いたマグネットを玄関の靴箱に貼っておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が数の提示をし、終わりの<u>見通し</u>を持たせる。</li> <li>活動内容や使用する道具の名前を具体的に知らせる。</li> </ul>
--------	---	--	--



#### まとめ

- 興味のある学習内容について、具体的に取り組む場面を設定し、見本を示す等して見通しを持たせることで、やってみよう!という気持ちを促す。

表現する力



- ・児童の興味に合わせた教材を準備し、できる活動を繰り返す行う。

- ・学習をパターン化する。
- ・意思表示するとやりたいことができることを確保する。
- ・表現するためのカードをいろいろ作っておく。
- ・体の動きを引き出すようなストレッチを行う。
- ・時間をかけてやりとりする。
- ・はっきり、大きな声で答えるように言葉がけをする。考える時間を確保し待つ。
- ・次の目標のヒントになるような言葉がけを行う。
- ・話すときに顔をどこまで上げるかを教師の手で示す。顔を上げるタイミングを示す。
- ・発表の時に、文章で答えるように促す。

- ・教師が報告するということを繰り返し伝える。
- ・本人が行った活動について教師と一緒に振り返る。

まとめ

・話し言葉、書き言葉、身体表現など様々な方法を用いて、表現できるように、じっくり時間をかけて、繰り返し取り組むようにする。

興味をもつ力



- ・教師と一緒にやり方を確認し、繰り返し行った。

- ・実態に応じて少しずつ課題を難しくしていく（スモールステップ）。
- ・タイマー等を使って終わりをわかりやすくする。
- ・好きな動画などを見せる。
- ・それぞれの頑張りを認め、賞賛する場面を作る。
- ・解決策のアイディアについて自由に意見を出す機会を設ける。
- ・できた時に賞賛し楽しい気持ちで取り組めるようにする。
- ・楽しい雰囲気的活動場面を設ける。頑張りをそのつど賞賛する。

- ・教師が一貫した態度で対応する。
- ・工程表や道具の名前を掲示する

まとめ

・児童生徒の好きなことを把握し、賞賛しながら、楽しく自由な雰囲気を作り、次の目標を持てるようにスモールステップで課題を設定していく。